

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.0
Q-1 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.44	3.0	0.29	
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.35	3.0	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能		3.0	0.91	3.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	0.09	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.21	3.0	0.21	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
2.1.1 室温設定		3.0	0.30	3.0	0.60	
2.1.2 負荷変動・過渡制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	0.40	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.50	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.5	1.00	3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.46	3.0	0.30	
3.1.1 昼光率		3.0	0.41	3.0	0.60	
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.59	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.20	3.0	0.30	
3.2.1 照度・明るさのグレア		-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.10	3.0	0.15	
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.24	5.0	0.25	
4 空気質環境		3.5	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38	
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 経気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	0.16	-	-	
4.3.2 喫煙の制御		3.0	0.84	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.4	0.40	2.9	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	2.5	0.60	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	1.0	0.50	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	4.0	0.50	
1.1.3 バリアフリー計画	バリアフリーを考慮したプランとしている。	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.7	0.40	3.5	0.40	
1.2.1 広さ感・景観		1.0	0.14	4.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
1.2.3 内装計画		3.0	0.86	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-	3.5
2.1 耐震・免震		4.2	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性		4.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能	中間免震の採用	5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
2.3.1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2.3.2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
2.3.3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.19	-	-	
2.4.1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.8	0.29	2.4	1.00	3.3					
3.1 空間のゆとり			4.2	0.10	1.8	0.50	共用部では広い空間を演出する為、階高を高く設定している。					
1 階高のゆとり		5.0	0.60	1.0	0.60							
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40							
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.10	3.0	0.50						
3.3 設備の更新性			3.8	0.80	-	-						
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-							
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-							
3 電気配線の更新性		5.0	0.11	-	-							
4 通信配線の更新性		5.0	0.11	-	-							
5 設備機器の更新性		5.0	0.22	-	-							
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-							
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4					
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0					
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0					
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0					
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-							
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0					
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0					
1 建物の熱負荷抑制			PALによる省エネ計算では努力指数を目標とした。					3.2	0.43	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0					
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-							
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-							
3 設備システムの高効率化			-	-	-	-	-					
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0					
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-							
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-							
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5					
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0					
1.1 節水		3.0	0.40	-	-							
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-							
1 雨水利用システム		3.0	0.67	-	-							
2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-							
2 低環境負荷材			3.6	0.85	-	-	3.6					
2.1 資源の再利用効率		3.0	0.37	-	-	基礎部分に高炉セメントの採用 将来対応できるプランとしている。						
1 躯体材料の再利用効率		4.0	0.67	-	-							
2 非構造材料の再利用効率		1.0	0.33	-	-							
2.2 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-							
2.3 有害物質を含まない材料		3.0	0.09	-	-							
2.4 既存建築躯体などの再利用		4.0	0.18	-	-							
2.5 部材の再利用可能性		5.0	0.18	-	-							
2.6 フロン・ハロンの回避		3.3	0.18	-	-							
1 消火剤		4.0	0.33	-	-							
2 断熱材		3.0	0.33	-	-							
3 冷媒		3.0	0.33	-	-							
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.5					
1 大気汚染防止			3.0	0.12	-	-	3.0					
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.12	-	-	3.0					
2.1 騒音		3.0	0.50	-	-							
2.2 振動		3.0	0.50	-	-							
2.3 悪臭		-	-	-	-							
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0					
3.1 風害の抑制		-	-	-	-							
3.2 日照阻害の抑制		3.0	1.00	-	-							
4 光害の抑制			3.0	0.10	-	-	3.0					
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.30	-	-	1.0					
6 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.22	-	-	3.5					
6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	京都市駐車場付置義務にのっとり設計をしている。						
6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-							
6.3 交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-							
6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.25	-	-							

■ LR-1 用途別得点表		ホテル	物販店	飲食店	-	面積按分 総合スコア
		14307 m ²	2831 m ²	3890 m ²	-	
1 建物の熱負荷抑制		3.0	3.0	4.0	-	3.2
3 設備システムの	ERRIによる評価	データ未入力	データ未入力	データ未入力	-	0.0
高効率化	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1 空調設備		5.0	4.0	5.0	-	-
3.2 換気設備		4.0	5.0	4.0	-	-
3.3 照明設備		5.0	5.0	5.0	-	-
3.4 給湯設備		3.0	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		3.0	-	-	-	-